



平成27年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
コード番号 3088 東証第1部
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 清雄
問 合 せ 先 執行役員財務経理部長 石橋 昭男
TEL 047-344-5110

〔訂正〕「平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成26年2月14日に開示いたしました「平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成27年11月11日）付「平成28年3月期第1四半期決算短信及び過年度に係る決算短信等（訂正版）の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マツモトキヨシホールディングス
コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本 南海雄
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 尾和 富士雄 TEL 047-344-5110
四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	362,539	5.0	15,626	7.9	17,262	7.4	9,676	11.5
25年3月期第3四半期	345,350	5.8	14,476	8.9	16,069	10.5	8,676	24.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 9,997百万円(10.8%) 25年3月期第3四半期 9,026百万円(21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	179.17	177.11
25年3月期第3四半期	186.82	158.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	250,076	146,380	58.3	2,667.23
25年3月期	228,231	136,702	59.3	2,571.35

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 145,707百万円 25年3月期 135,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

平成25年3月期 期末配当30円00銭には、記念配当(マツモトキヨシ創業80周年記念)10円00銭が含まれております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	3.0	20,000	1.6	22,000	1.5	12,500	10.9	237.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	54,629,307株	25年3月期	53,579,014株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	715株	25年3月期	953,679株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	54,005,215株	25年3月期3Q	46,443,642株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
5. 補足情報	12
売上及び仕入の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における日本経済の状況は、現政権による経済政策への期待から、円安傾向を背景とした輸出環境の改善、株価の上昇などにより各種の景気指標は引き続き好転しており、先行きの不透明感は未だ拭えないものの、経済活動には明るさが見られております。

ドラッグストア業界におきましては、競合企業の積極的な新規出店、既存の店舗展開エリアを越えた新たな競合の出現、M&Aによる競合企業の規模拡大、同質化する異業種との競争や医薬品ネット販売への対応など、我々を取り巻く経営環境はこれまで以上に大きく変化しております。

このような環境のなか、当社グループは、小商圏化する市場への対応として、各地域における競争優位性を確保すべく全国を7つのエリアに分け、エリアドミナント戦略を積極的に推進するとともに、ターゲット別のライフスタイルの変化に対応したMD戦略の再構築など、地域に密着したかかりつけの薬局として、企業価値の向上とシェア拡大に向け取り組んでまいりました。

新規出店に関しては、関東エリアを中心にエリアドミナント化を推進するとともに商勢圏拡大に向け新たなエリアへ侵攻し、九州エリアを中心にスクラップ&ビルドを積極的に推し進めたことで、グループとして85店舗（フランチャイズ2店舗を含む）を出店し、46店舗を閉鎖しました。また、多様化するお客様ニーズへの対応及び既存店舗の活性化を重点に78店舗の改装を実施しました。

さらに、グループ競争力の強化、シェア拡大に向けたエリアドミナント戦略の一環として、北陸エリアでドラッグストア・調剤薬局を展開する「株式会社示野薬局」を平成25年12月16日付で完全子会社化しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末におけるグループ店舗数は、1,493店舗となり、前連結会計年度末と比較して103店舗増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高3,625億39百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益156億26百万円（同7.9%増）、経常利益172億62百万円（同7.4%増）、四半期純利益96億76百万円（同11.5%増）と、売上高及び各利益とも同期間における過去最高となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、連結子会社の増加、新規出店、改装による既存店舗の活性化、地域ニーズに合わせたきめ細かな品揃えの拡充や営業時間の延長などによる利便性の追求、継続されている効率的かつ効果的な販促策及び新たな施策の推進などにより収益は大きく伸長しました。

また、展開を強化しております調剤事業に関しましても、既存店への併設を含め高い収益性が見込める物件を優先的に開局するとともに、株式会社マツモトキヨシファーマシーズの新規開設や地域医療連携を深めることで処方箋応需枚数が増加したことなどから引き続き順調に拡大しております。

<卸売事業>

卸売事業は、株式会社オークワとのフランチャイズ展開、既存契約企業の新規出店などにより拡大した一方、モリスリテール株式会社及び杉浦薬品株式会社の2社を完全子会社化したことに伴い、両社収益が小売事業に寄与したため、卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は3,485億89百万円（前年同期比5.9%増）、卸売事業115億26百万円（同18.0%減）、管理サポート事業24億23百万円（同18.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,500億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて218億45百万円増加いたしました。主な要因は、商品が76億95百万円、のれんが51億97百万円、流動資産のその他が34億31百万円、有形固定資産のその他が27億22百万円、受取手形及び売掛金が13億39百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,036億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて121億67百万円増加いたしました。主な要因は、1年内償還予定の新株予約権付社債が36億57百万円、未払法人税等が17億7百万円、賞与引当金が13億81百万円、それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が126億47百万円、短期借入金金が27億円、流動負債のその他が15億16百万円、ポイント引当金が11億73百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,463億80百万円となり、前連結会計年度末に比べて96億78百万円増加いたしました。主な要因は、配当金による32億17百万円の減少があったものの、四半期純利益により96億76百万円、自己株式の処分により17億52百万円、転換社債型新株予約権付社債の行使により、資本金、資本剰余金がそれぞれ9億55百万円、増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,563	12,377
受取手形及び売掛金	11,846	13,186
商品	<u>59,227</u>	<u>66,923</u>
貯蔵品	508	581
その他	16,604	20,035
貸倒引当金	△186	△44
流動資産合計	<u>99,563</u>	<u>113,059</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,041	42,052
その他	24,313	27,036
有形固定資産合計	<u>66,355</u>	<u>69,088</u>
無形固定資産		
のれん	6,655	11,852
その他	4,073	3,738
無形固定資産合計	<u>10,728</u>	<u>15,591</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,542	36,017
その他	16,599	16,840
貸倒引当金	△557	△520
投資その他の資産合計	<u>51,584</u>	<u>52,337</u>
固定資産合計	<u>128,668</u>	<u>137,017</u>
資産合計	<u>228,231</u>	<u>250,076</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,593	68,241
短期借入金	300	3,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	3,657	—
1年内返済予定の長期借入金	199	119
未払法人税等	4,463	2,756
賞与引当金	2,968	1,587
ポイント引当金	1,873	3,046
資産除去債務	20	21
その他	10,544	12,061
流動負債合計	<u>79,620</u>	<u>90,834</u>
固定負債		
長期借入金	91	19
退職給付引当金	1,202	1,339
資産除去債務	3,897	4,400
その他	6,717	7,101
固定負債合計	<u>11,908</u>	<u>12,860</u>
負債合計	<u>91,528</u>	<u>103,695</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	22,041
資本剰余金	21,866	22,821
利益剰余金	<u>93,697</u>	<u>99,664</u>
自己株式	<u>△2,238</u>	<u>△2</u>
株主資本合計	<u>134,411</u>	<u>144,524</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	1,182
その他の包括利益累計額合計	<u>906</u>	<u>1,182</u>
新株予約権	23	35
少数株主持分	1,361	638
純資産合計	<u>136,702</u>	<u>146,380</u>
負債純資産合計	<u>228,231</u>	<u>250,076</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	345,350	362,539
売上原価	248,307	258,538
売上総利益	97,043	104,000
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	911	1,086
給料及び手当	31,110	33,272
賞与引当金繰入額	1,506	1,568
退職給付費用	609	677
地代家賃	18,448	19,508
その他	29,980	32,260
販売費及び一般管理費合計	82,566	88,374
営業利益	14,476	15,626
営業外収益		
受取利息	139	137
受取配当金	245	256
固定資産受贈益	447	395
発注処理手数料	389	447
その他	508	444
営業外収益合計	1,731	1,680
営業外費用		
支払利息	53	23
貸倒引当金繰入額	49	—
持分法による投資損失	10	—
その他	24	21
営業外費用合計	138	45
経常利益	16,069	17,262

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	20	22
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	20	29
特別損失		
固定資産売却損	53	0
固定資産除却損	199	293
減損損失	680	594
投資有価証券評価損	262	—
その他	258	155
特別損失合計	1,454	1,043
税金等調整前四半期純利益	14,636	16,248
法人税、住民税及び事業税	5,349	6,154
法人税等調整額	509	358
法人税等合計	5,858	6,512
少数株主損益調整前四半期純利益	8,777	9,735
少数株主利益	101	59
四半期純利益	8,676	9,676

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,777	9,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	261
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	248	261
四半期包括利益	9,026	9,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,925	9,952
少数株主に係る四半期包括利益	101	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本金が955百万円、資本剰余金が955百万円増加し、自己株式を2,240百万円処分しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末の残高は資本金が22,041百万円、資本剰余金が22,821百万円、自己株式が2百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	194,189	135,059	176	13,873	2,050	345,350	—	345,350
セグメント間の 内部売上高又は振替高	36	96	227,514	41,871	7,694	277,214	△277,214	—
計	194,226	135,156	227,691	55,745	9,745	622,565	△277,214	345,350
セグメント利益	9,643	3,797	852	387	202	14,882	△405	14,476

(注) 1. セグメント利益の調整額△405百万円には、のれんの償却額△711百万円及びセグメント間取引消去305百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額680百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で330百万円、「その他小売事業」で364百万円、「管理サポート事業」で1百万円となり、連結決算における消去・調整で△16百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

株式取得により株式会社ダルマ薬局及びモリスリテール株式会社を連結したことや株式会社ぱぱすの株式を追加取得したこと等に伴い、新たにのれんが1,209百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、「調整額」で1,209百万円となっております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	201,036	147,553	116	11,410	2,423	362,539	—	362,539
セグメント間の 内部売上高又は振替高	30	207	240,603	43,049	6,963	290,854	△290,854	—
計	201,067	147,760	240,719	54,460	9,386	653,394	△290,854	362,539
セグメント利益又は セグメント損失（△）	10,871	3,836	1,116	400	△188	16,036	△409	15,626

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△409百万円には、のれんの償却額△718百万円及びセグメント間取引消去308百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額594百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で66百万円、「その他小売事業」で534百万円、「管理サポート事業」で4百万円となり、連結決算における消去・調整で△10百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

株式取得により株式会社示野薬局を連結したことや株式会社ばばすの株式を追加取得したこと等に伴い、新たにのれんが5,923百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で105百万円、「調整額」で5,817百万円となっております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業	348,589	105.9
卸売事業	11,526	82.0
管理サポート事業	2,423	118.2
合計	362,539	105.0

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	106,087	106.6
化粧品	131,244	105.3
雑貨	70,874	106.7
食品	40,131	104.4
小計	348,337	105.9
卸売事業	11,268	82.1
合計	359,606	104.9

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第3四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
小売事業		
医薬品	67,507	106.1
化粧品	94,687	106.8
雑貨	53,292	106.6
食品	35,499	104.7
小計	250,986	106.3
卸売事業	12,216	88.9
合計	263,203	105.3

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
 2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(訂正前)



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マツモトキヨシホールディングス
コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本 南海雄
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 尾和 富士雄 TEL 047-344-5110
四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	362,539	5.0	15,626	7.9	17,262	7.4	9,676	11.5
25年3月期第3四半期	345,350	5.8	14,476	8.9	16,069	10.5	8,676	24.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 9,997百万円(10.8%) 25年3月期第3四半期 9,026百万円(21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	179.17	177.11
25年3月期第3四半期	186.82	158.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	250,480	146,785	58.3	2,674.63
25年3月期	228,635	137,107	59.4	2,579.04

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 146,111百万円 25年3月期 135,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

平成25年3月期 期末配当30円00銭には、記念配当(マツモトキヨシ創業80周年記念)10円00銭が含まれております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	3.0	20,000	1.6	22,000	1.5	12,500	10.9	237.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	54,629,307株	25年3月期	53,579,014株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	715株	25年3月期	953,679株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	54,005,215株	25年3月期3Q	46,443,642株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
5. 補足情報	12
売上及び仕入の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における日本経済の状況は、現政権による経済政策への期待から、円安傾向を背景とした輸出環境の改善、株価の上昇などにより各種の景気指標は引き続き好転しており、先行きの不透明感は未だ拭えないものの、経済活動には明るさが見られております。

ドラッグストア業界におきましては、競合企業の積極的な新規出店、既存の店舗展開エリアを越えた新たな競合の出現、M&Aによる競合企業の規模拡大、同質化する異業種との競争や医薬品ネット販売への対応など、我々を取り巻く経営環境はこれまで以上に大きく変化しております。

このような環境のなか、当社グループは、小商圏化する市場への対応として、各地域における競争優位性を確保すべく全国を7つのエリアに分け、エリアドミナント戦略を積極的に推進するとともに、ターゲット別のライフスタイルの変化に対応したMD戦略の再構築など、地域に密着したかかりつけの薬局として、企業価値の向上とシェア拡大に向け取り組んでまいりました。

新規出店に関しては、関東エリアを中心にエリアドミナント化を推進するとともに商圏拡大に向け新たなエリアへ侵攻し、九州エリアを中心にスクラップ&ビルドを積極的に推し進めたことで、グループとして85店舗（フランチャイズ2店舗を含む）を出店し、46店舗を閉鎖しました。また、多様化するお客様ニーズへの対応及び既存店舗の活性化を重点に78店舗の改装を実施しました。

さらに、グループ競争力の強化、シェア拡大に向けたエリアドミナント戦略の一環として、北陸エリアでドラッグストア・調剤薬局を展開する「株式会社示野薬局」を平成25年12月16日付で完全子会社化しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末におけるグループ店舗数は、1,493店舗となり、前連結会計年度末と比較して103店舗増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高3,625億39百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益156億26百万円（同7.9%増）、経常利益172億62百万円（同7.4%増）、四半期純利益96億76百万円（同11.5%増）と、売上高及び各利益とも同期間における過去最高となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、連結子会社の増加、新規出店、改装による既存店舗の活性化、地域ニーズに合わせたきめ細かな品揃えの拡充や営業時間の延長などによる利便性の追求、継続されている効率的かつ効果的な販促策及び新たな施策の推進などにより収益は大きく伸長しました。

また、展開を強化しております調剤事業に関しましても、既存店への併設を含め高い収益性が見込める物件を優先的に開局するとともに、株式会社マツモトキヨシファーマシーズの新規開設や地域医療連携を深めることで処方箋応需枚数が増加したことなどから引き続き順調に拡大しております。

<卸売事業>

卸売事業は、株式会社オークワとのフランチャイズ展開、既存契約企業の新規出店などにより拡大した一方、モリスリテール株式会社及び杉浦薬品株式会社の2社を完全子会社化したことに伴い、両社収益が小売事業に寄与したため、卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は3,485億89百万円（前年同期比5.9%増）、卸売事業115億26百万円（同18.0%減）、管理サポート事業24億23百万円（同18.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,504億80百万円となり、前連結会計年度末に比べて218億45百万円増加いたしました。主な要因は、商品が76億95百万円、のれんが51億97百万円、流動資産のその他が34億31百万円、有形固定資産のその他が27億22百万円、受取手形及び売掛金が13億39百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,036億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて121億67百万円増加いたしました。主な要因は、1年内償還予定の新株予約権付社債が36億57百万円、未払法人税等が17億7百万円、賞与引当金が13億81百万円、それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が126億47百万円、短期借入金金が27億円、流動負債のその他が15億16百万円、ポイント引当金が11億73百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,467億85百万円となり、前連結会計年度末に比べて96億78百万円増加いたしました。主な要因は、配当金による32億17百万円の減少があったものの、四半期純利益により96億76百万円、自己株式の処分により17億52百万円、転換社債型新株予約権付社債の行使により、資本金、資本剰余金がそれぞれ9億55百万円、増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,563	12,377
受取手形及び売掛金	11,846	13,186
商品	<u>59,631</u>	<u>67,327</u>
貯蔵品	508	581
その他	16,604	20,035
貸倒引当金	△186	△44
流動資産合計	<u>99,967</u>	<u>113,463</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,041	42,052
その他	24,313	27,036
有形固定資産合計	<u>66,355</u>	<u>69,088</u>
無形固定資産		
のれん	6,655	11,852
その他	4,073	3,738
無形固定資産合計	<u>10,728</u>	<u>15,591</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,542	36,017
その他	16,599	16,840
貸倒引当金	△557	△520
投資その他の資産合計	<u>51,584</u>	<u>52,337</u>
固定資産合計	<u>128,668</u>	<u>137,017</u>
資産合計	<u>228,635</u>	<u>250,480</u>

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,593	68,241
短期借入金	300	3,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	3,657	—
1年内返済予定の長期借入金	199	119
未払法人税等	4,463	2,756
賞与引当金	2,968	1,587
ポイント引当金	1,873	3,046
資産除去債務	20	21
その他	10,544	12,061
流動負債合計	79,620	90,834
固定負債		
長期借入金	91	19
退職給付引当金	1,202	1,339
資産除去債務	3,897	4,400
その他	6,717	7,101
固定負債合計	11,908	12,860
負債合計	91,528	103,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	22,041
資本剰余金	21,866	22,821
利益剰余金	94,102	100,068
自己株式	△2,238	△2
株主資本合計	134,815	144,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	1,182
その他の包括利益累計額合計	906	1,182
新株予約権	23	35
少数株主持分	1,361	638
純資産合計	137,107	146,785
負債純資産合計	228,635	250,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	345,350	362,539
売上原価	248,307	258,538
売上総利益	97,043	104,000
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	911	1,086
給料及び手当	31,110	33,272
賞与引当金繰入額	1,506	1,568
退職給付費用	609	677
地代家賃	18,448	19,508
その他	29,980	32,260
販売費及び一般管理費合計	82,566	88,374
営業利益	14,476	15,626
営業外収益		
受取利息	139	137
受取配当金	245	256
固定資産受贈益	447	395
発注処理手数料	389	447
その他	508	444
営業外収益合計	1,731	1,680
営業外費用		
支払利息	53	23
貸倒引当金繰入額	49	—
持分法による投資損失	10	—
その他	24	21
営業外費用合計	138	45
経常利益	16,069	17,262

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	20	22
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	20	29
特別損失		
固定資産売却損	53	0
固定資産除却損	199	293
減損損失	680	594
投資有価証券評価損	262	—
その他	258	155
特別損失合計	1,453	1,043
税金等調整前四半期純利益	14,636	16,248
法人税、住民税及び事業税	5,349	6,154
法人税等調整額	509	358
法人税等合計	5,858	6,512
少数株主損益調整前四半期純利益	8,777	9,735
少数株主利益	101	59
四半期純利益	8,676	9,676

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,777	9,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	261
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	248	261
四半期包括利益	9,026	9,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,925	9,952
少数株主に係る四半期包括利益	101	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本金が955百万円、資本剰余金が955百万円増加し、自己株式を2,240百万円処分しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末の残高は資本金が22,041百万円、資本剰余金が22,821百万円、自己株式が2百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	194,189	135,059	176	13,873	2,050	345,350	—	345,350
セグメント間の 内部売上高又は振替高	36	96	227,514	41,871	7,694	277,214	△277,214	—
計	194,226	135,156	227,691	55,745	9,745	622,565	△277,214	345,350
セグメント利益	9,643	3,797	852	387	202	14,882	△405	14,476

(注) 1. セグメント利益の調整額△405百万円には、のれんの償却額△711百万円及びセグメント間取引消去305百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額680百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で330百万円、「その他小売事業」で364百万円、「管理サポート事業」で1百万円となり、連結決算における消去・調整で△16百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

株式取得により株式会社ダルマ薬局及びモリスリテール株式会社を連結したことや株式会社ぱぱすの株式を追加取得したこと等に伴い、新たにのれんが1,209百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、「調整額」で1,209百万円となっております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	201,036	147,553	116	11,410	2,423	362,539	—	362,539
セグメント間の 内部売上高又は振替高	30	207	240,603	43,049	6,963	290,854	△290,854	—
計	201,067	147,760	240,719	54,460	9,386	653,394	△290,854	362,539
セグメント利益又は セグメント損失（△）	10,871	3,836	1,116	400	△188	16,036	△409	15,626

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△409百万円には、のれんの償却額△718百万円及びセグメント間取引消去308百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額594百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で66百万円、「その他小売事業」で534百万円、「管理サポート事業」で4百万円となり、連結決算における消去・調整で△10百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

株式取得により株式会社示野薬局を連結したことや株式会社ばばすの株式を追加取得したこと等に伴い、新たにのれんが5,923百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で105百万円、「調整額」で5,817百万円となっております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業	348,589	105.9
卸売事業	11,526	82.0
管理サポート事業	2,423	118.2
合計	362,539	105.0

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	106,087	106.6
化粧品	131,244	105.3
雑貨	70,874	106.7
食品	40,131	104.4
小計	348,337	105.9
卸売事業	11,268	82.1
合計	359,606	104.9

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第3四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
小売事業		
医薬品	67,507	106.1
化粧品	94,687	106.8
雑貨	53,292	106.6
食品	35,499	104.7
小計	250,986	106.3
卸売事業	12,216	88.9
合計	263,203	105.3

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。